

## 第1回こどもの権利推進リーダー会議の実施結果について

実施日 令和7年1月24日(金) 18時から19時30分まで

会場 文京シビックセンター26階 スカイホール

## 1 参加者

こどもの権利推進リーダーとして、59人の中高生が参加した。参加者の内訳は次のとおり

	中学1年生	中学2年生	中学3年生	高校1年生	高校2年生	合計
人数	4人	2人	3人	16	34	59人
割合	6.8%	3.4%	5.1%	27.1%	57.6%	100.0%

## 2 内容

## (1) 特別講演 「こどもの権利を条例にいかす」

東洋大学名誉教授 森田 明美氏

## (2) 意見交換 1テーブル6人程度で10グループに分かれて、意見交換を行った。

テーマ1 本日の講演を聴いて感じたこと、考えたこと

テーマ2 参加の動機、リーダー会議に期待すること、リーダーとしての意気込み

※各グループの記録については、東洋大学の学生にご協力いただいた。

## 3 当日の様子

定員を大きく上回る応募があり、グループ形式としては満席に近い形での開催となった。特別講演を熱心に聴いたり、グループで積極的に意見交換する参加者の姿が印象的で、今後の取組への強い熱意が感じられた。

## 4 参加者の意見

本日の講演を聴いて、感じたこと考えたこと

- 1 知らなかったことがほとんどで、学ぶことしかなかった。
- 2 いい意味で「面白い」と感じた。
- 3 50年前ぐらいからあるものだと思っていたので、条約や法律が制定されたのが思ったより最近で驚いた。
- 4 こどもが意見できるということを知らなかった。意見できると知って安心した。
- 5 支援金という言葉が講義の中でたくさん出てきたのが気になった。そのお金はどこから来るのだろう。
- 6 条約の内容を知らないと考えることもできない。もっと詳しく知りたい。
- 7 条例の制定やこどもの権利など具体的にはよくわからなかったが、こういった会議を通じて学びながらより良いものを作っていきたいと感じた。



## リーダーの掟 (会議でのルールとマナー)

## 一つ 恥ずかしがらず、積極的に意見を言おう

何を話しても間違いなんてない。まとまってなくても OK

## 一つ 他の人の意見は、さえぎらず、否定せず、しっかりと聴こう

ものの見方、考え方はひとそれぞれ、自分と違うものこそ尊いものです。

## 一つ ここで聞いたことは、ここだけの秘密にする

相手の個人的なことはむやみに聞かない。ほかで話さない。

8	人権はもともとあるもので、権利は私たち自身が守っていくものという人権と権利の違いを初めて知った。
9	条例の当事者が自分たちであることを認識した。また、自分たちだからこそ権利を守っていき、条例が制定した後はこの条例が広く普及できるように頑張りたい。
10	条例の制定は前文など具体的に示していくのが大変だなと感じた。条例には皆が「守ってほしいこと」を取り入れたいと感じた。
11	権利というのは持つものが守っていくものというのを初めて知ったので、我々で権利を守っていきたいと感じた。
12	世界や文京区でどんな事に取り組んでいたのか知らなかったため、我々こどもの権利など私たちのことを考えてくれていることに驚いた。こどもは「今を生きる存在」ということを広めていきたい。
13	難しい。
14	子どもの権利条約で、自身も当時者だけど、まだまだ知らないことがあった。もっと広報を工夫させたい。
15	これからもっと学んでいきたい。
16	具体的にどうしたいかがつかめていない。
17	日本も遅れている方なので今後もっと工夫を…
18	最初は分からなかったけど、こどものための権利がたくさんあるのを知れてよかった。
19	分かりにくかった部分もあるし、今後条例をどう組み立てていくのかも少し不安…
20	私立の高校のため、元々こどもの権利について学んでいた。しかし、学校によって権利についての勉強に格差がある。そのため、全員が勉強する機会が必要と考えた。
21	今回の講義を聞いて、自分たちの手で世の中は変えることができると知り、やる気が湧いた。
22	自分の住んでいる足立区には、まだこどもの権利条例が無いことを知った。また、自分自身が来年こども(18歳になるため)でなくなることに驚いた。
23	自分自身、こどもの権利について知らなかった。周りにも知っている人は少なかった。そのため認知度を上げる必要があると考えた。
24	何も知らずに参加したが、今回の講義を聞いて子どもの権利条約とはすごいものなのだと感じた。
25	自分が通っている中学は荒れており、ドアを破壊する生徒もいる。他の生徒から見てその生徒は「元気」という印象を持ったが、先生からは暴れん坊と見られていた。このことから、大人は先入観や偏見が強いのではないかと考えた。偏見を持つことを変えたい。
26	こどもというワードからもっと簡単かと思っていたが、難しかった。ヤングケアラーが気になった。
27	今の自分はあたり前ではない。活動を通してもっとこどもの権利を知りたい。
28	日本は平和だから、こどもの権利の普及が遅いのではないかと考えた。もっと考えていくべき。
29	何も知らないまま参加した。先生の熱意や自分の知らない所で進んでいることを感じた。地方(出身地)には行き届いていない。
30	学校の教育に関して東京は進んでいるイメージがあったけどまだ不十分である(埼玉出身)。
31	埼玉(出身地)ではこどもの権利について聞いたことがなかったため驚いた。
32	全体的に話が難しく、何を言っているかまいちよくわからなかった。
33	こどもも権利は元々持っているため、行き届いていないことが問題なのではないか。
34	世間でも女性の権利がよく話題になっている。
35	先生の講義で言いたかったのは、困っている人を助けようということだったんじゃないかなと思った。
36	こどもが参加できるようにというけれど、私たちみたいに生活に余裕のある人たちではなく、本当の当事者に意見を聞きたい。しかし、彼らは時間的余裕もないし、学校にも行けていないかもしれないので、ヒアリングする時間をとることは難しいだろう。

37	自分がヤングケアラーだと気が付いていない人も多いのではないか(それをあたりまえ、普通のことだと思っている)。そんな人に、それはあたりまえなことじゃないよ、自分を犠牲にする必要はないよと伝えたい。
38	解決策として、昔ヤングケアラーだった人にヒアリングするのはどうか。
39	こどもに情報を届けるには、発信力を上げてほしい。TikTokやYoutubeでインフルエンサーに広めてもらうのがやはり若者には一番有効なのではないか。 理由：ホームページを見ないから。難しい話も伝える人次第では聞く耳を持つとする。 例：quizknockとコラボ。普段小学～高校生が見ているインフルエンサーに。
40	「主体性」、「発揮する力」という言葉の定義を具体的に示してほしい。なんのことかわからない。
41	条例を作った後にどう広めるか、何が改正されたのかについてをどう発信するのか。
42	こどもに関心を持たせられるかが大事になってくる。
43	東京都がこどもの権利のついで取り組みをしていることを知らなかったが、このような取り組みをされていることが嬉しい。
44	東京都に住む人は学費免除など多くの制度があって羨ましい。特に、千葉県・茨城県・埼玉県から東京都の私立高校に通っているため金銭面で格差を感じる。
45	東京都内でも格差(地域差)を感じる。その格差を埋める援助が欲しい。
46	「学ぶ」行為は全員同じため、平等であってほしい。
47	私立学校や大学に通わせている親が学費のことで嘆いている声を耳にする。
48	国立、公立などで設備が異なり、もう少し新しい設備にしてほしい。
49	私立(大学附属)に通っている中高生は、設備が整っていても格差を感じる。特に、大学生のみエレベーターが使用可能など。
50	茨城県つくば市では医療費が安い学費免除などは手厚くない。自分の県のことは知っているが他の地域の制度についてあまり知らないと感じた。
51	都内だとリーダー会議のように学びの機会が多いと感じる。
52	交通の便利さによって学習の機会が限られると感じる。ZOOMなどオンラインで学びの機会が増加したことはありがたい。
53	権利を主張するには、ある程度学校でも規律を守るようにするべきだと思う。
54	地域レベルでのこのような活動は初めて知った。取り組みに地域差が生まれないようにするべき。
55	日本のこどもの権利の取り組みが遅かったのが驚きだった。奨学金など大事なものに関わるので頑張りたい。
56	こどもの権利は当事者である私たちが知っておくべきだと思う。
57	こどもが幸せになるためにどうできるか真剣に向き合いたい。幸せの基準も個人で違うはずだからそれも視野に入れたい。
58	大人が決めるのではなく、当事者の私たちが決められることだからありがたいと思う。
59	こどもの権利について詳しく知らなかった。
60	こどもの権利について初めて知った。
61	産まれてからのケアはとても多いが、中高大と上に行くにつれて徐々にケアが減っていることに不満を感じる。これからの事だからケアを増やしてほしい。留学に行きたいから支援をしてほしい。
62	親とこどもの権利などについて話す中で、権利を主張したら、こどもとしての義務を果たせと親から言われた子がいるらしい。こどもの義務とは何かを知りたい。
63	千葉に住んでいる子が、東京の高校の授業料無償化などが不平等だと言っていた。自分の地域の千葉だけでなく他県のことも含めて言っていた。
64	部活動をやっている中で遠征などの支援をしてほしいという不満や願望を感じている子がいた。
65	こどもの漢字の意味を知らなかったなので、今回知ってひらがなで書くようにしたいと思った。

66	学校の授業で様々な権利について学ぶ機会があるが、学んでも忘れてしまうことが多いし、活かすことができていないので、今回のような活かす機会があってよかった。
67	子どもにとって自分の意見を言っていっていいと言ってくれる機会はとても重要だと感じた。
68	子どもの権利条約は漢字を使い過ぎだと感じた。
69	親と子どもの関係は密接で、親が子どもに与える影響はとても大きいのだと感じた。
	今回参加した動機、この会議に期待すること、子どもの権利推進リーダーとしての意気込み
1	「子ども」と関わるのが好きで、特に教育系に興味があり今回参加した。自分たち高校生は、大人よりも子どもの時のことを覚えているし、気持ちがわかる気がする。その中高生だからこそわかる子どもの気持ちを条例の中にもうまく入れていきたい。
2	「条約」に興味があり、身近にヤングケアラーがいたこともあり、今回の会議に興味を湧いた。他学校や他学年とこのような話をできる機会はなかなかないため、みんなからも学んでいきたい。
3	告知を見て単純に気になって参加した。他学校や他学年の人々と話す機会があまりないため、同世代とかかわって出る意見を大切にしていきたい。
4	政治や「条約」に興味があり参加した。他校の人と話して様々な意見を知っていきたい。
5	「子ども」に興味があって参加した。みんなの意見を聞きつつ、今回の会議で自分の考えをより深めていきたい。
6	「子ども」より「条約」に興味があって参加した。今回の講義でも知らないことばかりで学ぶことしかなかったため、会議を通して学びを深めていきたい。
7	条例を制定するという経験したことがない事をするということに魅力を感じたため参加した。実際に皆で条例を制定していきたい。
8	条例を制定する事に興味があった。この機会を大学受験に生かしたいと考えて参加した。条例や子どもの権利など具体的には知らないためこの会議を通じて理解を深めたい。
9	元々法についての興味があったため参加した。ただ条例を制定するのではなく、作った条例が広く普及できるように頑張りたい。
10	今回のリーダー会議の前に行われた中学生サミットに参加した際に、興味を持つようになったため参加した。皆でより良い条例を制定していきたい。
11	条例は中々触れる機会が少なく、あまり多くの事を知らないため、この会議を通じて学んでいきたいと考えて参加した。こういった新しいことを知ることで、自身が成長できるように積極的に自分の意見を発信していきたい。
12	先生から興味があるのなら参加してきたらと促されて参加してみようと思った。実際に条例を制定していくので、文京区から変えていきたい。いずれはアフリカなど世界中に子どもの権利を普及できるように頑張りたい。
13	案内を見て、自分達の意見をしっかり考えて、伝えられる場に参加してみたくて参加を決めた。自分達がより当事者意識をもって考えられるようにしたい。
14	条例文を考えて作ってみたいと思い参加。しっかり参加して意見を出していきたい。
15	法や子どもについて関心があって、もっとくわしく知りたいと思い参加。子ども全体に知ってもらえるようにがんばりたい。
16	中学生サミットに参加した際に案内を見て参加。権利条約について知って、自身が説明できるようにしたい。
17	進路を考える際に法に興味があって、そうした「法」がどう設立されていくかに興味があったため参加。自身が権利条約などについてくわしく説明できるようにしたい。
18	学校での案内をみて参加。加えて、法についてももっとくわしく学んでみたく、参加を決意。
19	父親が文京区のボランティアに携わっており、誘われた。子どもの権利を確立していきたい。
20	何も知らずに参加を決意。期待することは特になし。
21	部活動もなかったため、何かに参加したいと思っていた。子どもたちの役に立てるように頑張りたい。
22	学校の先生が紹介しており、せっかくならチャレンジしてみたいと思い参加を決意。自分自身、もう子どもではなくなるけれど頑張っていきたい。
23	母親に誘われて参加を決意。自分自身が虐待もどきを受けていたので、そのような思いをする人を減らしていきたい。

24	自分自身が生徒会に所属しているため、参加を決意。これからも意見交換とディスカッションを大切にしていきたい。
25	自分の家庭環境がいいことで守られる権利がある。環境が与える影響について考えたい。
26	将来、こどもに関する仕事をしたい。自由にのびのび育つにはどうしたらいいのか考えたい。
27	自分にも関することだから知りたい。
28	もっとこの分野に詳しくなりたい。
29	法や政治に興味がある。
30	こどもの権利が何なのか気になった。日常での経験を振り返りたい。
31	自分たちが関わってどれだけ変わるのか、つくる側として結果を見届けたい。
32	他の高校生たちと話し合っって考えを深めたい。
33	もっとこどもの権利が広まってほしい。
34	自分たちの行動が誰かのためになってほしい。
35	みんなで集まっていいものをつくりたい。
36	これからを生きるこどもたちが生きやすくなるようなものをつくりたい。
37	友達に誘われた。学んでこなかった分野だし、知るきっかけになるなと思い参加した。
38	将来、法律に関わる職業に就きたいと考えているため、参加した。
39	親に申し込まれたため参加した。
40	高校で配布されたチラシをきっかけに興味を持ち応募した。
41	友達と共に応募を決意し、法律や権利に興味があった。多くの友達を作る機会にしたい。
42	親から、大学受験の際のアピールポイントになると言われ応募を決意(半強制的であったが、実際参加して楽しいと感じた。)。法律に興味がある。思いを素早く簡潔にまとめることが苦手だが、そんな自分を変える機会にしたい。
43	親から、大学受験の際のアピールポイントになると言われ応募を決意。身近に障がいをもつ友人がおり、学習環境に差があることに疑問を持ち深く理解したいと考えている。全ての人の権利・支えることについて詳しく知り、平等かつ公平な世の中を作りたい。
44	大学で観光について学習したいと考えており、観光には多くの法律が関わるため理解する必要があると考えたため。埼玉県三郷市でも別のリーダー会議への参加経験があるため、そこで学んだことを生かして取り組みたい。学ぶ場所の違いや価値観の多様性を大切にしていきたい。
45	ここでの経験は大学進学後も生かせると思ったから。
46	自分たちの考えを反映できるから。
47	こどもの権利について知りたいと思ったから。
48	将来国連で女性の権利を守ることに携わりたい。これが将来の夢への第一歩として貴重な経験になると思った。
49	自分たちが当事者として関われるから。
50	選挙権がまだない中で、政策決定に関われる良い機会になると思ったから。
51	自分の意見を上手に表明できるようになりたい。
52	学校で服装などのルールを守らない人が多いから、ルールに従ってもらえるように頑張りたい。
53	どんなことを反映させるべきか理解を深めたい。

54	私たちの生の意見を反映させること。
55	この機会はならではの雰囲気があるので、発言を頑張りたい。
56	私たちの意見を反映したい。
57	友達に誘われたから。
58	権利を深く知りたいから。
59	法律に興味があるから。
60	おもしろそうだったから。
61	近くに住んでいてこのような別の活動にも参加しているから。
62	こどもと関わる・寄り添う仕事を将来考えているから。
63	高校の授業(探求)でSDGsを学びそこから調べて参加した。
64	多くの人に知る機会が増えてほしい。
65	講義内のビデオを実際に学校でも流して欲しい。
66	こどもの権利が広まってほしい。
67	こどもの権利を広めていきたい。
68	政治に興味があり、政治についてのイベントで、このイベントをすすめられた。
69	生徒会で先生におすすめられたから。自分の学校で何か活かせることが吸収できたらいい。
70	子どもの権利条約について様々な人としゃべってみたかったから。
71	福祉に興味があって、学校から外れたコミュニティでも自分は話せるのか知りたかったから。
72	他の人の意見を聞くことができる場は貴重だと思い、参加した。

# 第2回こどもの権利推進リーダー会議の実施結果について

実施日 令和7年3月14日(金) 18時から19時30分まで  
 会場 文京区民センター2-A会議室



## 1 参加者

区内の中学生10人、高校生47人の合計57人が参加した。

	中学1年生	中学2年生	中学3年生	高校1年生	高校2年生	合計
人数	4人	1人	5人	15	32	57人
割合	7.0%	1.8%	8.8%	26.3%	56.1%	100.0%

## 2 内容

1テーブル6人程度で10グループに分かれて意見交換を行った。

テーマ1 日々の生活で感じたモヤツと体験

テーマ2 自分に関する大切なことについて、意見を言った、聞かれた経験

※各グループの記録については、東洋大学の学生にご協力いただいた。

## 3 当日の様子

第1回リーダー会議に引き続き、多くの中高生が参加した。

意見交換では、実体験や日頃の思いが語られ、自分のこどもの権利を見つめ直すとともに、こどもの権利の大切さが確認されていた。

### Let's モヤツと体験 (グループ討議①)

事例を参考に、日々の生活の中で感じた

自分のモヤツとを思い出そう!

そして、どんなこどもの権利が

大切にされていないのか、考えてみよう!

検討 → グループ討議 → 発表

### こんな経験ありませんか？

- ・親が勝手に部屋に入り、友達からの手紙を読まれた。
- ・いつも塾や習い事で忙しい。勝手に予定を決められる。
- ・相談したいけど、親や先生が話を聞いてくれない。
- ・きょうだいの中で一番上だから、自分ばかりがおこられる。
- ・自分はやっていないのに、「どうせ君がやった」と決めつけられる。
- ・他の子はあんなことができるのに、と比べられる。
- ・「外で遊ぶ」と言われるけど、公園ではボール遊びが禁止
- ・子どもはいつも大人の言うことを聞かないといけなの？
- ・いやなあだ名で呼ばれるのを「やめて」と言ってもやめてくれない。
- ・サッカー部に入りたいのに、女の子はダメと言われた。
- ・ゲームは一日1時間って決められた。
- ・校則は誰が決めるの？

なんだかモヤツとませんか？  
 モヤモヤするのは、  
 「こどもの権利」が尊重されていないからかもしれません！

## 4 参加者の意見

### 日々の生活で感じたモヤツと体験

- 1 テストの点数や成績を兄弟や友達と比較された。自分は自分で、得意や個性が違うのに比較されるのはおかしい、やめて欲しいと感じた。
- 2 電車で座っていると舌打ちされたり、見られる。駅の人に雑な対応をされた。
- 3 公民館で酷い対応をされた。また、先生に話を聞いてもらえないまま、誤解されて怒られた。子どもだからと下に見られたような(まともにとりあってもらえない)感じがして、悲しい気持ちや不愉快な気持ちになった。
- 4 交友関係やプライベートについて親や先生から口出しされる。
- 5 移動する度に親に逐一報告しないとイケない。親とかも心配で言ってくれてるのかもしれないけど、そこまで介入されないといけなのか…？
- 6 親戚に会いたくないといったが無理やり会わされた。
- 7 学校や親にアルバイトを禁止される。他校は禁止されていないのに私の学校は校則で禁止されている。

8	金額などお小遣いを自分で決められない。自分の希望が通らない。
9	親に習い事を無理やりやらされたり、辞めさせられる。
10	門限が決められている。一時期は16時半に設定させられていた。まだまだ遊びたいのに門限のせいで遊べない。
11	二重とびができないと高校生じゃないといわれた。
12	親が成績にうるさい。「どうしてももう少し点数を取れないの」と言われた。
13	親に点数の事をうるさくいわれているのに、どんなに点数を伸ばしてもほめてもらえない。点数を兄や友達と比べられる。
14	個人的な内容のアンケートをする時、周りで見られてしまうこと。アンケートなど実際に書いたことが本当に反映されてるか、匿名で書いても答案用紙の集め方次第では書いた人がわかってしまうのではないかと感じた。
15	なんとなく親に相談しにくい雰囲気がある。話すのが恥ずかしい、言ったらどんな返答が返ってくるか怖い、不安。
16	友達にiPadの中にある写真やメモを勝手にみられた。
17	インスタなどのSNSに勝手に写真を投稿される。
18	みんなが見ているから相談したくてもスクールカウンセラーに相談しにくい。相談したのは良いが、スクールカウンセラーが勝手に担任の先生に伝えてしまう。そこから友達にも広まってしまう。
19	自分が買いたいランドセルの色があるのに、親の希望に合わせて選んでしまう。めちゃめちゃごねて希望の色を買うことが出来た。
20	自分が欲しい服を買ってくれない。
21	スマホの使用を制限される。10時以降はスマホを使用できない。アプリをダウンロードするには親の許可が必要だった。
22	親の離婚再婚
23	宗教による輸血の禁止
24	どうして校則があるのかわからない。理解できないものが多い。例えば、制服の衣替えは必要ないのでは。寒がり、暑がりによって違う。自分で決めさせてほしい。
25	親の機嫌を伺わないといけないのが面倒。それによって理不尽に怒られたりすることがとてもストレスに感じる。
26	姉と比べられる。
27	交友関係や遊びに行くことを親に制限される。この子とは関わっちゃダメと勝手に決めつけてくる。親が子どもの交友関係に首突っ込まないでほしい。
28	成績について小言を言われるのが嫌。親に点数をなんかの拍子に見られたときに、「低いねえ」と言われた。その時は平均点が低かったと弁明したが聴いてもらえなかった。
29	中学の時、自分のやり方と合っていないにも関わらず、塾の先生に勝手にコマを大量に入れられ、決められたことがあった。
30	一緒に暮らしてるおばあちゃんが、脱衣所に声をかけずに入ってくる。
31	小学校の時、勉強が苦手な子だけ先に漢字テストの答えを知れるという特別扱いをする先生がいた。
32	友達が子ども部屋に監視カメラを設置された。
33	女子が生理とかでプール見学になったけど、テストが受けられなくて、成績に入らなかった。
34	弟が忙しい中で習い事をやっていて、弟は厳しく育てられた。
35	親に半強制的に英語を習わされたことがあった。今となってはよかったかもと思う。
36	スマホの使用制限
37	区議が「最近はお子さんの意見を聴くというのが流行りだが、声が肥大化している。」とか「子どもに親の意見を代弁させていて、児童虐待だ」と発言していた。
38	お兄ちゃんは部屋でゆったりしてるのに、自分は家事をさせられた。男女で教育方針が違うのかなという感じがする。

39	家族が勝手に部屋に入ってくる。部屋を掃除される。
40	英語の授業中に先生から単語の意味を聞かれ、分からない時に少しバカにされた。
41	中学生の時に親にスマホを見られた。嫌だった。
42	親にテストの点数を聞かれる。
43	お小遣いが少ないと思う。
44	女の子だから足を広げないと言われる。
45	生徒会に入っていて、まだ若いからという理由で先生に挑戦させてもらえないことがあった。
46	球技会を自分たちで企画していたけど、先生の事情で1年半後に実行。先生が介入してくるので自分たちで企画しても結局先生の意見になる。
47	学校で自分の上着を着ていると怒られる。
48	スマホにアプリを入れるのは、高校生からと言われた。なぜ高校生から良くなるのか理由がわからない。
49	話そうとしたタイミングが重なったとき、父や兄が優先される。
50	兄弟でいつもお兄ちゃんと呼ばれる。
51	野球部に入りたいと言ったところ、全員男子で女子が私だけだったから、入れなかった。
52	親からやんちゃだと見られており、何か壊れたり問題があることがあると全部自分のせいにされた。
53	サッカーをやりたいかったけど、女子がいなくてできなかった。
54	中学入学までに帰ると言われたから引越したのに、結局中学卒業まで戻れなかった。親が嘘をついたと思った。
55	外泊禁止
56	小4になるまで友達と外で遊んじゃだめだった。
57	校区外で遊ぶのが中学までだめだった。家から2キロまでという学校が設定した謎ルールがあった。
58	中学校でツーブロック禁止の校則があった。変えようと思い、賛成してくれた友達が意見として先生に言ってくれて、校則は変わらなかったけれど大きな動きになった。
59	塾が忙しくて友だちと遊ぶ時間がない。親が塾に行くことを決めてしまった。
60	良い成績をとってもほめられず、次もがんばってね、とばかり言われる。やる気にならない。
61	兄弟と比べた話をされる。
62	友達とできないことを比べられてしまうこと。
63	親がスマホを勝手に見る。
64	勝手に部屋に入らないでほしいと伝えても、勝手に部屋に入ってくる。
65	ホラー映画が好きで夜中にホラー映画を観ていたら見つかって、バカになると言われてホラー映画を観ることが禁止された。
66	軟式テニス部に入りたいかったが、男子の軟式テニス部がなかったため入部ができず、別の部活に入部せざるを得なかった。
67	小学生のころ門限が17時で厳しかった。もっと友達と遊びたかった。
68	家事を手伝うように言われるのが嫌。
69	姉とくらべられる。勉強ができる姉基準でいろいろ言われるのが嫌。
70	親の意見が変わる。親が筋の通っていないことを言うのが嫌。
71	親に出かける時の準備時間が長いと怒られた。おしゃれが好きでおしゃれに時間をかけていると勉強しろと言われるのがうざい。

72	現在、大学の附属高校に通っているが、別の大学に行きたい。そのことを親に話したら文句を言われた。
73	親が話を聞かず勝手に物事を決めてしまう。
74	宿題をやろうとしたタイミングで「やりなさい」と言われるのが嫌。
75	少し休憩しているだけなのに、休憩しているタイミングで勉強しないの？と言われるのがイライラする。勉強する気であるのに、そう言われると勉強したくなくなる。
76	資格を取りたいけど反対された。
77	ダウン、靴下などの色が校則で決められている(靴下の長さを注意される)。
78	ピアスを開けちゃダメという校則
79	髪の毛の長さが肩より長く、校則で結ばなければならない。
80	それぞれの考え方、価値観を認めてくれない。
81	自分がやりたいことよりも、社会や大人の目を気にして、行動できない(周りの友人の意見に流され、合わない人をグループから排除してしまった)。
82	自分の決断をハッキリできず、親の意見が正しいと思い込まされ、親の意見で決めてしまうことが多々ある(自分が優柔不断なのがいけないが)。
83	校則を変える方法がない。生徒会の意味がない。結局は大人が納得しないと、何も変えられない。
84	何時までに帰らないといけないと決められる。補導される時間まで遊ぶ訳じゃないのに、制限されるのは納得いかない。
85	ゲームが平日は30分、土日祝日は1時間しかできない。1分でもオーバーすると1週間ナシ!! 至少く融通してほしい。
86	誰と遊びに行くのかを聞かれる。保護者として子どもを守るからといって、プライバシーを侵害してよい訳ではない。そもそも、友人の名前を言っても分からないのに、教える意味はあるのか。
87	大切にしておいたポテチをかってに食われた。
88	推しのことを語ると、親に「キモい」と言われる。自分だって推しがいるのになんでだよお!
89	学校に行っている間に、母が私のスマホで私の友達のLINEをブロックした。
90	なぜか私だけが怒られる。妹がやらかしても自分のせいになる。長女だという理由だけで一方的に怒られる。
91	気づいたら進路が決まっていた。3~5歳のときから、30歳くらいまでのルールがひかれていた。
92	期末考査の勉強で休憩中に、親に勉強しないの？と言われた。
93	学校の係決めの時に、第一希望を聞かれたが、他の人に決まってしまう、その後、第二希望は聞かれず、先生に勝手に決められてしまった。
94	校則で禁止されていないピアスを、親に禁止された。
95	インフルエンザの治癒証明を学校に求められたが、5,000円もかかってしまった。
96	勉強したの？宿題したの？とたくさん親に聞かれ、自分のタイミングでできない。
97	校則はゆるいが、親に髪を染めてはダメだと言われた。また、週一しか部活に行ってはいけないと縛りをつけられた。
98	高校からバスケット部に入るのを止められた。
99	進路を決められる、将来のためと部活を決められる(会社に入ったらゴルフ出来たほうが良いのでゴルフ部)、体格が良かったためアメフト部に入れと決められる、新しいことをしようとするとたしなめられる。
100	大人が一番偉いという考え、親なんだから子は従うべきと感じる。自分が受けてきたことをやり返している。
101	頭髪に対しての規制が厳しいため校則の改正を行おうとしたが、生徒会がスマホであそんでいたりなどで信用がなくなり改正できなくなった。伝統校などの校則については、もはや背景も分からない。

102	重いものを持たされる、罰として晩御飯を抜かれる、家に入れてもらえない。
103	自分の可能性を伸ばせることは大事、やりたいと言ったことを応援してくれてうれしい、挑戦の前から否定するのはおかしい、繰り返し挑戦させてほしい。
	自分に関する大切なことについて、意見を言った又は聞かれた経験
1	塾の先生を変えてほしいと親に伝えて変更して貰えた。
2	相談は必要だけど、相談すれば自分の意見を尊重してもらえるようになった。
3	成績をあげる約束をして、部活を続けさせてもらえるようになった。
4	先生に話を聞いてもらえるようになった。
5	退部をしようとしていた部員の引き止めの協力を先生にお願いしたら協力して貰えた。
6	進路について親から賛同してもらえた。
7	進路について反対されてしまった。
8	スマホのルールについて承諾してもらえなかった。
9	道徳の授業でしっかり考えて発表した意見を笑われてしまった。
10	ピアノを続けたいと言ったが、結局やめた。
11	学校に行きたくないと言ったところ、最初は反発されたが、繰り返し言っていたら休む許可をくれた。
12	進路であったり、将来について話したら、親や先生が色々調べてくれて、成功するまで支えてくれた。
13	兼部をしたいと言ったらさせてもらえた。
14	お小遣いの値段をあげてほしいと言ったらあげてくれた。
15	習い事の先生が、私のやりたい事について話したら尊重してくれて、教え、支えてくれた。
16	一緒に生徒会に立候補しようと言ったらいいよと言ってくれた。
17	塾を変えたいと言ったら変えてくれた。
18	習い事をやめたいと交渉したらやめることができた。
19	部活が忙しい時期に、私用で部活を休みたいと交渉したら休むことができた。
20	ピアノを習い続けたいと言ったら、続けさせてもらえた。しかし、半年でやめてしまった。
21	受験で行きたいところがあると言ったらそこを調べてくれた。
22	先生に校則があるのはなぜなのか聞いたら、「まあまあ」とごまかされ、スルーされたから、意見を言っても変化はなかった。
23	姉と比べられるのが嫌だと親に伝えたところ、あまり言われなくなった。
24	食べ物や服で買ってほしいものがあるときに、「これ買ってほしい」とお願いするが、高いから…という理由で断られた。また、機嫌が悪かったり、親の好みではないものだったりするときに、親がキレたため息をつかれ、買ってもらえなかったり、「私のお金で買ってるんだからね?」と怒鳴られた。
25	委員長を務めているときに、委員長だからという理由で怒られた。「それはおかしい、他の人と同じように扱ってくれていない」と反論したところ、謝ってもらえた。
26	小学生の時、月に1回行われる学級会で、生徒同士で話し合っ決めて決めることができた。
27	生徒会での活動中、問題が起きてこれはおかしいと意見したら、解決に向けて動いた。
28	成績について親に小言を言われた際、「じゃあお母さんはどうだったの?」と聞いたら、笑ってはぐらかされた。
29	中学の時の塾の先生に勝手にコマを決められたことがあったことに関しては、母親に嫌だという意見を伝え、母親伝いで塾に意見を伝えてもらったら、改善してもらえた。

30	自分の習い事の動画などをInstagramなどのSNSに勝手に投稿するのをやめてくれと言ったら、少なくとも私の見える範囲では削除してくれた。
31	中学の時の部活動が忙しく、厳しく、しんどすぎて辞めたいと顧問に言った際、1.5時間も話し合いをさせられたが、辞めさせてくれた。
32	お父さんが買いすぎて置ききれなくなってしまったトレーニング用品を、自分の部屋に勝手に置かれた。嫌だ、片づけてほしい、片づけても良いかとかなり強く伝えたところ、ようやくいくつかが片づけてくれた。また、処分もさせてくれた。
33	両親と喧嘩した際、必ず二人はタッグを組み、謝罪を強要される。私の意見は聞いてくれず、謝るまで怒られる。
34	大学の進路で自分が行きたくない学部を親に勧められて、自分の気持ちを言ったら、学費は親が出すんだから言う通りにしてって言われた。
35	スマホの使用制限を変えてほしいと親に言ったが、勉強がはかどらないからダメと言われた。
36	塾に通いたいと言ったら、すんなり通わせてくれた。また、進路も私の意見を尊重してくれている。
37	差別とかいじりが入った笑いはよくないなって友達に言い続けてたら、実際になくなった。
38	最近相談はしてなくて、自分で勝手に決めて、親に事後報告してる。欲しいものがあつたらとりあえず条件をクリアしたら、買ってもらえる。
39	学校でモノが盗まれたとき、たまたま同じものを持ってただけでしょって先生に言われて終わった。
40	体操を辞めたいって言ったら、代わりにバドミントンは小6まで続けてって親に言われた。
41	近くの席の人に、分からないところがあったから教えて欲しいと頼んだが、教えて貰えなかった。教えて欲しいと頼む時に恥ずかしい気持ちがあつたが、正面から教えて欲しいと伝えたら恥ずかしい気持ちが減った。
42	信用されると思っていただけがわかってもらえず、信用されるようになってしまった。
43	部活の際、要らないルールの廃止を提案し、受け入れてくれた。
44	進路や塾の選択の際、意見が通った。また、留学の相談も聞いて貰えた。
45	留学をしたいが、家のルールがあり難しい。親を説得しようとしたが意見は通らなかった。だけど、自分の言いたいことを言えてやりきった。
46	文化祭の際、クラスで面白いことをやろうと提案したら意見が通った。意見は言わないと通らないということを知った。言うことが大事だと思った。
47	中学受験のときに、自分で学校を決められたことが良かった。当時は努力しないタイプだったが、それでもよいと言ってもらえた。
48	吹奏楽部に転部をしたかったときに、楽器が30数万円するので躊躇していたが、いいよと言ってくれた。
49	小6の時に美大に行きたかったので親にそう言ったが、うまく行かなかった。
50	選択科目の美術を選びたかったが1万円ぐらいかかってしまう。そのときにいいよと言ってもらえた。
51	進路を決めるときに、自分の行きたいところへ行っていよと言ってくれた。
52	習い事の送り迎えをずっとしてくれた。
53	歯の矯正にはお金がかかるが、させてくれた。
54	バレーをやめたいときに相談したところ、「じゃあ塾に行ったら？」とアドバイスをしてくれて嬉しかった。
55	コンサートに行きたかったが、「自分のお金じゃないでしょ」と言われて、行かせてもらえなかった。
56	やりたいことを親が応援してくれた。
57	校則について、結局言いくるめられた。
58	校則にスマホ禁止があつて反対したが、反映されない。
59	なかなか言い出せなかったが、辞めたいと言ったら部活を辞めさせてくれた。
60	高校受験と大学受験は、自分がどうしたいのか意見を聴いてくれた。

61	現在、大学の附属高校に通っていて、自分としては校内推薦を捨てても別の大学を受験したいが、校内推薦は捨てるなど言われている。
62	学校に授業がうまい先生と下手な先生がいて、成績が悪いことがコンプレックスだったため、授業がうまい先生にクラスを変えてほしいといったところ変えてもらった。
63	姉の大学受験が大変だったため、自分は大学の附属高校に通っている。大学は別の学校に行きたいが、親から反対されていて、話し合いをしている最中。
64	進路について意見を言ったら文句を言われた。数か月後に、別の進路を伝えたら、元の進路の方がよかったんじゃないのと言われた。文句の内容がころころ変わるのが嫌だ。
65	中学受験で志望校がなかなか決められなかった時に助けてくれた。
66	クラスのことを相談した時に助けてくれた。
67	ランドセルの色を自分で決められた。
68	趣味を極めたくて新しいタブレットがほしいと交渉したらOKされた。
69	習っていた水泳を辞めた時に、辞めるタイミングを自分で決めることができた。
70	部活の大会に出るか出ないかを定めることができた。
71	高校受験の時に自分の意見を言ったこと
72	自分が行く中学を自分で決めた。
73	高校を決める際に、それまではなんとなく都立志望だったが、第一志望を変えた時。
74	中学受験をするかしないか。受験のための塾に通わせてもらった。
75	自分のやりたい部活について
76	自然と少数派の意見が排除される傾向がある。
77	意見を言っても、最初は意識してもらえが、時間が経つと忘れられてしまう。
78	生徒会が変えようと思って議論したことを、大人がダメだと言ったら議論が無駄になる。球技大会をやりたかったのに、大人にウヤムヤにされた。
79	父の仕事で海外に行くことになったが、インターナショナルスクールに通うか、小学校に通うかを決めさせてもらった。
80	附属高校か大学受験が決めるときに、親に上を目指してもいいんじゃない？と言われた。親の意見が第一みたいになってしまった。
81	学校の授業で、LGBTQについての意見を問われ、発言する機会があり、意見を聞いてもらえ、考え方として取り入れてもらった。
82	高校進学の際、附属高校に行くのが当たり前という雰囲気、他の学校に行くことも考えたかったのに暗黙の了解で附属の高校にあがった。
83	小さい頃の将来の夢を、未だに押し付けられている気がする。
84	附属高校に行っているが、他大を受験したいと思ったときに、親に反対されると思ったが、親が考えを否定せずに道を示してくれた。
85	高校の進路を決めるときに、行きたくない学校の説明会に連れていかれそうになったが、意見を伝えて、最終的には自分で選べた。
86	附属にあがるのが当たりの雰囲気があり、意見を言ったことがあったが、親のマシガントークでうやむやにされた。
87	文化祭の出し物を決めるとき、内部進学組の意見で決められた。既存コミュニティが強く、人数差で負けた。
88	新しい習い事を始めたいと思い親に相談したら、応援してくれた。
89	高校受験をした後、他に変わりたいため相談したら応援してくれた。
90	海外に住んでいた時、日本人学校かインターナショナルスクールかを選ばせてもらい、インターナショナルスクールは300万円くらい高いのにそっちに行かせてくれた。
91	茶髪にしたいと前から相談していたが受け入れてもらえなかった。でもやっと許可をもらった。
92	〇〇をやりたいというとOKしてくれるが、それを応援してくれている感じではない。無関心な気がする。
93	夢を変えても応援してくれない。関心がない。学部にも関わってくる話なのに。